

刺繍パッチの取り扱いについて

ベルクロモデルは外して
手洗いで長持ちします～!



【洗濯について】

中性洗剤を使って洗濯機で洗っても問題ありませんが、衣類を洗濯ネットに入れたり、ベルクロモデルの場合は取り外して中性洗剤を使い手洗いすると、より長持ちします。

【保管について】

刺繍パッチはできるだけ湿度が安定する、直射日光の当たらない場所に保管してください。

なお、**ベルクロモデルは重ねないでください。**刺繍パッチの大敵はベルクロ(オス)のように引っ掛かるものや摩擦です。重ねて管理する場合、表裏を交互に重ねるようにしてください。

【1】お見積もり

いただいた図案をもとに刺繍できるか否かを検討したうえで、料金を算出します。お見積もりは無料で行っています。

刺繍ができないと判断した図案はお断りする事がありますが、せっかく作ったデザインをお断りすることも心苦しいです。デザインの前にこのパンフレットを熟読お願いいたします。

【2】刺繍データ作成

刺繍ソフトを利用して刺繍データを作成します。専用のソフトで原画を「トレース(なぞる)」してデータを作ります。系の緊張で発生する変形や模様ズレ、系の流れを考えながらデータを作り込むため、あえて手間のかかるトレースにこだわって、刺繍データ等を製作しています。



【3】テスト縫い→修正

出来上がったデータで試し縫いを行います。試し縫いで模様ズレを点検、修正し、再度縫ってサンプルが完成します。

【4】サンプル納品・枚数の確定・ご請求

サンプルをお客様に郵送し、了解いただければ枚数を確定、ご請求書を発送します。料金のお支払い後に製品を納品させていただきます。**売掛け(P3)は行っていません。**

【5】量産・納品

料金を確認したら量産・検品のうえ納品します。込み具合により納期が変動します。パッチどうしの摩擦による痛みを防ぐため、基本的に個別包装しています。

【コラム】模様はまんべんなく配置しよう

糸と生地で再現する刺繍製品作りは変形(模様ズレやひずみ)との戦いです。模様ズレや変形を防ぐ対策はしますが限界があります。最大の変形対策は「模様をまんべんなく配置したデザインにする」ことです。

偏りのある図案はひずみが大きくなります。刺繍パッチで最も難しい図案は日本国旗「日の丸(日章旗)」です。正円の面はひずみやすく、ひずみに伴い、周囲にシワが入るためです。sacrom worksではひずみを軽減した日の丸パッチを開発しましたが、開発には数年を要しました。

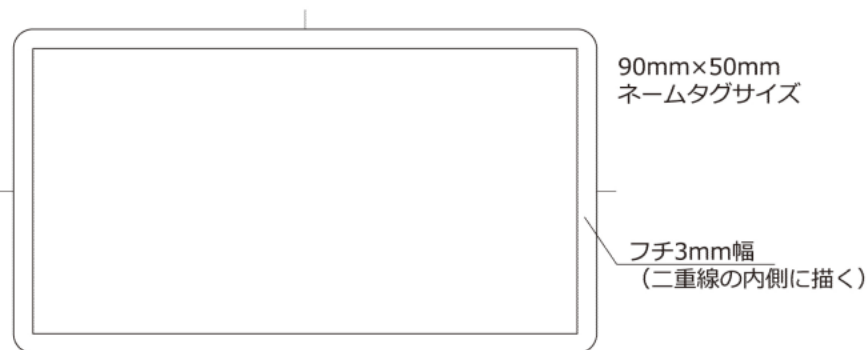


偏りが少ない



偏りが大きい

刺繍パッチデザイン 下書き用テンプレート



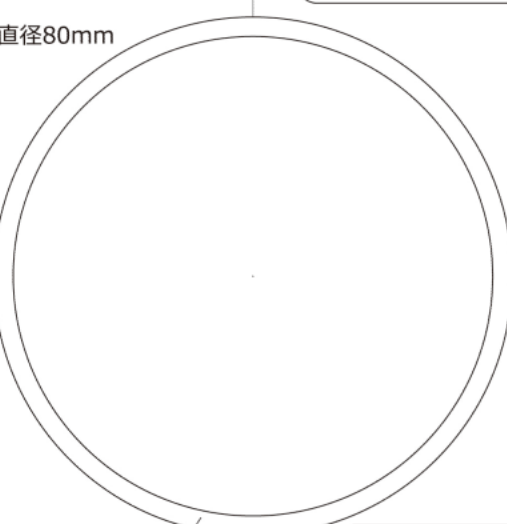
90mm×50mm
ネームタグサイズ

フチ3mm幅
(二重線の内側に描く)



フチ3mm幅
(二重線の内側に描く)

90mm×25mm
ネームテープサイズ



直径80mm

フチ3mm幅
(濃い二重線の内側に描く)

【背景基本色参考】



【注意】線の太さを確保すること

- 1mm幅の線 (基本的にこの太さ以上)
- エンド部分 (徐々に細くなる)
- 0.7mm (最も細い場所。極力避ける)